

新規牧草用ラップフィルムの効果確認試験



JAひろお

(有)北藤ファーム



慣行品



試験品①



試験品②

試験目的

薄物輸入ラップフィルム(グラスワインド)の効果確認

試験作物 及び品種

牧草

試験資材 及び数量(規格)

グラスワインド(0.02mm×500cm×2284m) 白 4本

慣行資材

ファームベール(0.025mm×500cm×1800m) 白

資材使用期間

8月下旬～11月末日

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

試験品はフィルムの厚みムラがあり、なおかつフィルムが固い印象があったが問題なくラッピング出来た。

タカキタ社の機械にて3重巻きでラッピングした。長く保管する分は4重巻きにしている。

(2)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】：ラップ1本で慣行品は18～19ロール程度出来るが、試験品は25ロールくらい巻くことが出来た。

【問題点】：フィルムが薄い分、サイレージの中身への問題が発生しないか気になる。

(3)資材の強度・耐久性・崩壊性について

試験品は、フィルムがあまり伸びないのか巻き初めに切れることがあった。

過去に使ったことのある中国製ラップ(厚み0.025mm)よりは、品質が良かった。

今回は問題なかったが、ラッピングの際に切れる等のトラブルがあると、トラクターから降りてセッティングし直す作業でロール作成効率が落ちる。忙しい時期なので、ラップの品質は重要である。

モニター感想

【生産者コメント】

問題なく給餌出来た。熊の被害にあったため急いで給餌した。

【ラップ作業者コメント】

慣行品の国産ラップと異なる感覚があったが、問題なくラッピング出来た。

ラップ1本で慣行品よりも多くのロールが出来、ラップの交換回数が減る等の省力化につながるが、今回はラップ4本での試験であったため、あまり省力効果を実感できなかった。

JA担当者の感想(保志担当)

ラッピング作業、給餌について問題がなかったため、価格次第では取扱可能であると考えます。

当農協管内でも輸入ラップを使用している生産者が多くなってきているので、来年から農協としても輸入ラップを在庫し、取扱を開始する。(先ずは薄物ではなく、全道、十勝管内で実績のあるグラスワインド通常規格0.025mm厚を取り扱う)

今後の使用について

継続して使用したい。